

第6回 レザーカット学生コンテスト2020

RAZOR CUT STUDENT COMPETITION 2020

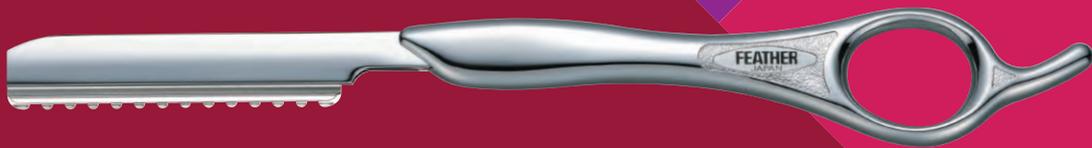
募集ヘアスタイル

レザーで創るBOB(ボブ)&
レイヤースタイル

入賞作品発表

モデル部門

審査・寸評 山下浩二氏 (Double)



モデル部門 **グランプリ**



古川 美宇 様 大阪モード学園

審査
山下氏
寸評

ブリーチしてカットして……とシンプルなんですけど、全体に嫌みがなく似合わせができていて、まだ学生なのにプロな感じが漂います。自分の好きなものがよくわかっていて、カット力やデザイン力など全体的にレベルが高い人ですね。

モデル部門 準グランプリ



長谷川 愛実 様 名古屋美容専門学校

審査
山下氏
寸評

モデルの髪のカセや顔立ちに似合った雰囲気で、奇をてらったところは何もないけど、「なんかいい」という作品。モデルのよさを生かし切った作品ですね。

モデル部門 3位



藤本 理子 様 名古屋美容専門学校

審査
山下氏
寸評

モデルの雰囲気に合うヘアスタイルで、余計なことをしていない分、シンプルにデザインのよさが伝わってくる作品。

モデル部門 佳作



清水 美桜奈 様 日本美容専門学校

審査
山下氏
寸評

髪を感じとか面白いと思うけど、メイクで雰囲気を壊してしまっている部分もあるので、メイクをもう少し頑張るといいと思いました。とはいえ、チャレンジャーとしては素晴らしいと思いました。



入賞作品の選出は山下氏のサロン (Double SONS) で実施されました

山下氏による全体を通しての講評

美容学生の皆さんのレベルはすごく上がっていると思います。それは教える立場の先生方のレベルも上がってきているから。先生方も研究して、モデルさんをどうすれば美しく仕上げられて、撮影できるかを教えていらっしゃるし、学生の皆さん自体も撮影モデルをしっかり探してきているので偉いと思います。ただ、全体的に言えるのが“もう少しオリジナリティがほしい”ということ。特にウィッグ部門は、ウィッグでしかできないようなデザインを作り出してもらえるといいと思います。僕ら美容師が考え付かないようなデザインを学生ならではのパワーと発想で作り出してもらえると嬉しいです。最初から型にハマったようなデザインばかり作るのではなく、テクニックやバランスなどは多少違っていたり、粗削りでも自分なりにもがきながら“あ、これは何か違うんだな”という風に気づきながら成長していくほうが将来の伸びしろはあると思います。

”来年度のコンテストにチャレンジしよう”という学生の皆さんへのアドバイス

自分の好きなものを追求して、自分のセンスを信じて、作品撮りをやっていけばいいと思います。で、その中に必ず少しだけ流行のファッションのエッセンスを取り入れるのがポイント。いろんなファッションの流れを知ろうとしたり、本当にきれいなものを見たり、いい音楽を聞いてセンスを磨いたりすることは大事なことです。あとは、ウィッグでの作品作りもいいですが、できることならモデルを使ってカットしてスタイリングして撮影する……ということをやっているといいと思います。



フェザー安全剃刀株式会社

本社/〒531-0075 大阪市北区大淀南3丁目3番70号
東京支店/〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1丁目2番2号
ホームページ www.feather.co.jp/